



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年10月31日

上場会社名 株式会社中村屋 上場取引所 東
 コード番号 2204 URL <https://www.nakamura.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 鈴木 達也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 (氏名) 鈴木 克司 (TEL) 03-5325-2711
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第2四半期の業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	12,161	12.6	△2,343	—	△2,237	—	△1,545	—
2022年3月期第2四半期	10,801	8.8	△2,396	—	△2,268	—	△1,480	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△259.17	—
2022年3月期第2四半期	△248.22	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	42,496	24,097	56.7
2022年3月期	42,143	26,084	61.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 24,097百万円 2022年3月期 26,084百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	50.00	50.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	2.8	100	—	220	249.2	180	△22.6	30.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期2Q	5,976,205株	2022年3月期	5,976,205株
2023年3月期2Q	15,769株	2022年3月期	15,581株
2023年3月期2Q	5,960,549株	2022年3月期2Q	5,960,790株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における菓子・食品業界は、新型コロナウイルス感染症対策による行動制限が順次緩和され、人流の回復に伴う需要の持ち直しが見られたものの、原材料・エネルギー費の高騰、さらには急激な円安の影響などを受け、大変厳しい状況が続きました。

当社におきましては、創業120周年を機に策定した新たな理念体系のもと、当年度を初年度とする3ヵ年計画『2022年-2024年 中期経営計画』に基づき、事業活動を行いました。

理念体系のビジョン（中村屋の中長期的な姿）で掲げた「これからの暮らしに溶け込む、喜んでもらえる食を提案する」を実践すべく、一部の量販店販路における中華まんの通年販売や、栄養バランスを考えた朝食向け食品「しっとり具〜ドッグ」を新発売するほか、自家用菓子「ご褒美喫茶」シリーズの拡販などを推進しました。また、レトルトカレーにおける新シリーズ「スパイス紀行」の展開や、中食・内食向け食品の開発推進と成長業態への積極的なアプローチなど、環境変化に対応した取組みを進め、売上の拡大に努めました。一方で、原材料等の高騰を受け、8月以降、主要商品の価格改定を行いました。

以上のような営業活動の結果、当第2四半期累計期間の売上高は、12,161,147千円 前年同期に対し1,359,743千円、12.6%の増収となりました。

利益面では、売上増収も、原材料・エネルギー費の高騰により、営業損失は2,343,325千円 前年同期に対し52,258千円の改善、経常損失は2,237,212千円 前年同期に対し30,958千円の改善、四半期純損失は1,544,770千円 前年同期に対し65,182千円の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は、建物の減少230,890千円、売掛金の減少220,795千円、投資有価証券の減少202,117千円等がありましたが、原材料及び貯蔵品の増加775,783千円、商品及び製品の増加452,808千円等により、前事業年度末に比べ353,105千円増加し、42,495,748千円となりました。

負債は、繰延税金負債の減少767,719千円等がありましたが、短期借入金の増加2,900,000千円等により、前事業年度末に比べ2,340,844千円増加し、18,399,215千円となりました。

純資産は、四半期純損失1,544,770千円、剰余金の配当298,031千円による利益剰余金の減少等により、前事業年度末に比べ1,987,740千円減少し、24,096,533千円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末の現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ、127,019千円減少し、1,055,204千円となりました。

区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、2,395,359千円の支出（前年同期は2,068,473千円の支出）となりました。これは主に、減価償却費795,801千円、仕入債務の増減額362,704千円等があったものの、税引前四半期純損失△2,237,882千円、棚卸資産の増減額△1,245,400千円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、274,276千円の支出（前年同期は291,866千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出△281,315千円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、2,542,573千円の収入（前年同期は2,446,160千円の収入）となりました。これは主に、配当金の支払額△298,113千円等があったものの、短期借入金の純増減額2,900,000千円等があったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期の業績予測につきましては、2022年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,187,214	1,060,195
売掛金	4,096,304	3,875,510
商品及び製品	1,557,629	2,010,437
仕掛品	39,236	56,044
原材料及び貯蔵品	1,038,132	1,813,915
その他	495,451	544,767
貸倒引当金	△517	△492
流動資産合計	8,413,448	9,360,376
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	8,637,862	8,406,972
構築物（純額）	579,671	560,625
機械及び装置（純額）	2,963,141	2,914,954
車両運搬具（純額）	93	47
工具、器具及び備品（純額）	321,935	309,228
土地	13,132,490	13,134,656
リース資産（純額）	1,927,738	1,773,427
建設仮勘定	12,464	32,444
有形固定資産合計	27,575,393	27,132,352
無形固定資産		
その他	211,304	200,421
無形固定資産合計	211,304	200,421
投資その他の資産		
投資有価証券	4,808,902	4,606,785
関係会社株式	536,056	536,056
その他	599,170	661,389
貸倒引当金	△1,631	△1,631
投資その他の資産合計	5,942,497	5,802,600
固定資産合計	33,729,195	33,135,372
資産合計	42,142,643	42,495,748

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,219,359	1,582,063
短期借入金	5,900,000	8,800,000
リース債務	117,203	113,154
未払金	1,097,327	1,314,217
未払費用	517,118	551,159
未払法人税等	103,516	56,583
賞与引当金	535,047	531,594
その他	161,167	41,222
流動負債合計	9,650,736	12,989,991
固定負債		
リース債務	541,312	490,344
繰延税金負債	2,734,592	1,966,873
退職給付引当金	2,378,204	2,204,318
資産除去債務	261,518	255,780
受入保証金	486,550	486,450
役員退職慰労未払金	5,460	5,460
固定負債合計	6,407,634	5,409,224
負債合計	16,058,371	18,399,215
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,469,402	7,469,402
資本剰余金		
資本準備金	6,481,558	6,481,558
その他資本剰余金	1,688,664	1,688,664
資本剰余金合計	8,170,223	8,170,223
利益剰余金		
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	3,341,190	3,304,125
別途積立金	5,204,932	5,204,932
繰越利益剰余金	458,276	△1,347,460
利益剰余金合計	9,004,398	7,161,597
自己株式	△66,661	△67,251
株主資本合計	24,577,362	22,733,971
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,506,911	1,362,562
評価・換算差額等合計	1,506,911	1,362,562
純資産合計	26,084,273	24,096,533
負債純資産合計	42,142,643	42,495,748

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	10,801,404	12,161,147
売上原価	8,007,333	9,067,095
売上総利益	2,794,072	3,094,052
販売費及び一般管理費		
販売費	4,125,701	4,304,684
一般管理費	1,063,954	1,132,694
販売費及び一般管理費合計	5,189,655	5,437,378
営業損失(△)	△2,395,584	△2,343,325
営業外収益		
受取配当金	58,858	66,730
助成金収入	69,089	37,505
その他	16,762	18,983
営業外収益合計	144,710	123,218
営業外費用		
支払利息	17,136	16,269
その他	160	836
営業外費用合計	17,296	17,105
経常損失(△)	△2,268,170	△2,237,212
特別利益		
固定資産売却益	3,788	—
投資有価証券売却益	183,039	—
固定資産受贈益	85,636	—
特別利益合計	272,463	—
特別損失		
固定資産売却損	2,423	—
固定資産除却損	1,756	671
減損損失	290	—
本社移転費用	71,608	—
特別損失合計	76,077	671
税引前四半期純損失(△)	△2,071,784	△2,237,882
法人税、住民税及び事業税	16,306	10,925
法人税等調整額	△608,501	△704,037
法人税等合計	△592,195	△693,112
四半期純損失(△)	△1,479,589	△1,544,770

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△2,071,784	△2,237,882
減価償却費	807,933	795,801
減損損失	290	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△28	△25
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,644	△3,453
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△251,688	△173,886
受取利息及び受取配当金	△58,860	△66,732
支払利息	17,136	16,269
為替差損益(△は益)	45	91
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,364	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△183,039	—
有形固定資産除却損	1,756	671
売上債権の増減額(△は増加)	275,649	220,795
棚卸資産の増減額(△は増加)	△824,211	△1,245,400
仕入債務の増減額(△は減少)	204,896	362,704
未払消費税等の増減額(△は減少)	△112,692	△118,267
役員退職慰労未払金の増減額(△は減少)	△5,091	—
その他	△26,277	17,145
小計	△2,222,686	△2,432,170
利息及び配当金の受取額	71,086	73,702
利息の支払額	△16,435	△13,374
法人税等の支払額	△16,960	△35,653
法人税等の還付額	116,521	12,136
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,068,473	△2,395,359
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	68	—
有形固定資産の取得による支出	△304,299	△281,315
有形固定資産の売却による収入	4,849	—
無形固定資産の取得による支出	△3,013	—
投資有価証券の取得による支出	△5,813	△5,914
投資有価証券の売却による収入	359,249	—
関係会社株式の取得による支出	△405,035	—
投融資による支出	△1,436	△555
投融資の回収による収入	63,564	15,454
資産除去債務の履行による支出	—	△1,946
投資活動によるキャッシュ・フロー	△291,866	△274,276
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	5,800,000	2,900,000
長期借入金の返済による支出	△3,000,000	—
リース債務の返済による支出	△55,414	△58,725
自己株式の増減額(△は増加)	△358	△590
配当金の支払額	△298,068	△298,113
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,446,160	2,542,573
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	43
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	85,823	△127,019
現金及び現金同等物の期首残高	1,141,107	1,182,223
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,226,930	1,055,204

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	菓子事業	食品事業	不動産 賃貸事業	
売上高				
一時点で移転される財又はサービス	6,514,941	4,045,654	—	10,560,594
顧客との契約から生じる収益	6,514,941	4,045,654	—	10,560,594
その他の収益	—	—	240,810	240,810
外部顧客への売上高	6,514,941	4,045,654	240,810	10,801,404
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	6,514,941	4,045,654	240,810	10,801,404
セグメント利益又は損失(△)	△1,579,133	182,026	65,477	△1,331,629

(注) その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△1,331,629
全社費用(注)	△1,063,954
四半期損益計算書の営業損失(△)	△2,395,584

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「菓子事業」セグメントにおいて、当初想定していた収益が見込めないため、一部の店舗において減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期累計期間において290千円であります。

II 当第2四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	菓子事業	食品事業	不動産 賃貸事業	
売上高				
一時点で移転される財又は サービス	7,537,734	4,380,514	—	11,918,248
顧客との契約から生じる収益	7,537,734	4,380,514	—	11,918,248
その他の収益	—	—	242,899	242,899
外部顧客への売上高	7,537,734	4,380,514	242,899	12,161,147
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	7,537,734	4,380,514	242,899	12,161,147
セグメント利益又は損失(△)	△1,400,962	131,342	58,989	△1,210,632

(注) その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△1,210,632
全社費用(注)	△1,132,694
四半期損益計算書の営業損失(△)	△2,343,325

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。